



Kaji Junior high school times

梶中学校通信

— JUMP —

飛翔

発行：大阪府守口市立梶中学校

校長 丸山 宗久

☎06-6902-0813 📠06-6907-2669

〒570-0015大阪府守口市梶町4-28-5



11.28&12.12 梶中学校PTA：指名委員会

～次年度の役員決定に向けて～



→標記の日程にて、梶中学校PTA「指名委員会」を実施しました。指名委員会は先般発出された令和8年度梶中学校PTA役員告示に併し、選挙管理委員会として起動しましたが立候補者が不足し、選挙管理委員会から指名委員会へと変わり、次年度役員決定に向けて鋭意検討中です。残念ながら今年度においては副会長が未だ1名不在である事からも、次年度は幸先良いスタートを切るべく尽力頂いております。



【熱意ある立候補続々と】→夜の遅い時間帯にも関わらず、PTA執行部役員及び指名委員会の皆様が参集し、立候補者の確認、候補者の選出、進捗状況確認等を協議致しました。11月28日では膠着した状況でしたが、12月12日では、特に現役員の方々より続投の意思表示があり、大きく前進した形となりました。更には立候補者選出のため、今一度PTA役員業務の具体を確認し、候補者に対して詳細な説明が出来る様にする事を確認して終了しました。

12.9(火) 守口市教育委員会：学校視察

～梶中学校の現状を詳細に視察～

→標記日程で、守口市教育委員会：学校相談員(2名)が本校の視察に来校されました。当日の2限目の授業を全て参観され、その後視察の感想の他、本校の生徒や保護者、地域、又、教職員や学校施設、行事等幅広く質問を受けました。

【概ね高評価】→授業の様子については、第三学年始め、どの学年においてもきめ細やかな指導が展開され、生徒達が集中して臨む、落ち着いた授業である事に対し、概ね高い評価を頂く事が出来ました。

その後、学校側からの様々な相談したい事項について聞かれ、学校からの質問に丁寧な回答。今後の参考にして更なる発展を目指して行きます。



12.10～梶中生のXmasカード掲示

～それぞれの思いをXmasカードに～

→標記の日程より本館校舎一階の廊下に、生徒達が「今、欲しい物」を書いた「Xmasカード」を掲示しております。

【学年毎で欲しい物の違い】→ Xmasが近い時期であり毎年恒例の行事で、全学年のカードには、各々学年の特徴や「今時の子ども」らしさが垣間見えました。第一・二学年には「ゲーム」に始まる具体的な「物」が大半で中には「10万円」というストレートな希望もありました。第三学年は「成績」「鼓舞力」等学習に関連するものが目立ち、「自分の部屋」といった意見もあり、その心情が深く理解出来ました。





12.15(月)北河内中学校長会：研修会

～新学習指導要領について学ぶ～



→標記の日程で、「北河内地区中学校長会研修会」が会場の守口市本庁で実施されました。今年度の研修会テーマは令和10年度実施予定(小学校は令和9年度)の、新学習指導要領について、現在の進捗における報告やその方向性。又現行との相違点や、より詳細になった部分等を学びました。

【学力向上の鍵は『活用』】→講師として文部科学省・初等中等教育局・主任視学官：田村 学氏を招聘。現行の学習指導要領で展開している、例えばGIGAスクール構想におけるデータを活用した授業のメリットの他、それらを「Input」だけではなく「Output」を多用する事で、得られた知識が長期に渡って脳に定着する事の証明が紹介され、それら知識を「活用」する機会として「総合的な学習」の有効性を論じられました。「これを覚えておく様に」という「Input」の授業のみでは時間経過と共に得た知識が早期に剥がれ落ちてしまうため、「活用」すること推進する方向性を確認しました。



12.10~12 生徒会：挨拶運動

～学期末に挨拶の推進～

→標記日程期間で、生徒会による「挨拶運動」が、早朝の本校正門付近において実施されました。各学期末に実施される、生徒会による恒例の取組みの一つで、今学期の終了間近に、梶中学校生徒達の元気な挨拶の音が響きました。

【挨拶の活性化を】→梶中学校の生徒は比較的挨拶をする生徒が多い学校だとの認識ですが、もっと活性化しても良い余地は残っています。挨拶は決して強制されるものではありませんが、一般社会では挨拶する・しないで人間性を評価される事が大半です。社会側では「挨拶はして当然」と考えている事を意識して欲しいと思います。



12.11(木)大阪府教育庁：支援教育訪問

～本校の支援教育を視察～

→標記日程で大阪府教育庁より本校の支援教育を視察のため4名の担当指導主事が守口市教育委員会の担当指導主事2名と共に来校。支援学級(やまびこ学級)や通級指導教室視察他、通常学級授業も参観されました。

【丁寧な判断と指導の重要性】→授業の様子を参観され、「支援教育だけではなく、学校全体がきめ細かい指導を行っている」との感想を頂きました。又、支援学級入級の判断基準や合理的配慮を基軸とした指導展開についても一定評価を頂きました。今後鋭意取り組んで参ります。



MaryXmas →今学期もいよいよ佳境を迎え、時間の経過が益々慌ただしくなりました。世間ではXmasムード一色ですが、一方で北海道・三陸沖地震の影響冷めやらぬと同時に、未だ完全復興とはならない能登半島地震の被害もあり、決して浮かれてばかりはいられません。しかし、大変な状況ではあっても、ほんの少しでも心に温かい余裕を感じさせてくれる何かがあれば、心の栄養になるかも知れません。被災の大変さにも、受験で思い悩む葛藤にも、ひと時の安らぎを。MaryXmas

